

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

## 事業名 清流の国ぎふふるさと魅力体験事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 教育企画第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3518)

E-mail： c17765@pref.gifu.lg.jp

## 1 事業費

48,494千円 (前年度予算額：52,415千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	52,415	26,207	0	0	0	0	0	0	26,208
要求額	48,494	24,247	0	0	0	0	0	0	24,247
決定額									

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・本事業は、岐阜県が世界に誇る自然・歴史・文化・産業等について学ぶ「ふるさと教育」の取組みとして、岐阜県を代表する施設を見て体験することを通じて、ふるさと岐阜に誇りや愛着を育むことを目的に実施している。
- ・小・中・義務教育学校及び特別支援学校に加え、令和元年度からは高等学校にも対象を拡充し、小・中・高と切れ目ない「ふるさと教育」を実施しており、ふるさと岐阜の魅力を深く知る機会を創出している。

## (2) 事業内容

- ・「清流長良川あゆパーク」、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」、「岐阜関ヶ原古戦場記念館」の教育プログラムの活用や、県の文化施設で郷土の自然、歴史や文化に触れるなど、関連施設の見学や体験活動を通じて、ふるさと岐阜の自然・歴史・文化・産業等について学習する。

対象：小学校、中学校、義務教育学校、県立高等学校、特別支援学校

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・「清流の国ぎふ」への誇りや愛着を育むための「ふるさと教育」として、県が主体となって推進しており、県負担により実施。

### (4) 類似事業の有無

- ・ 無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	30	外部講師謝金
旅費	20	外部講師費用弁償
役務費	438	傷害保険料
委託料	36,000	市町村への委託費（小・中学校等実施分）
使用料	12,006	バス借り上げ、高速道路使用料、施設入場料
合計	48,494	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略（R1～5）

- ・ 1 「清流の国ぎふ」を支えるひとづくり

(1) 未来を支える人

- ①地域や企業等と連携したふるさと教育の展開

岐阜県教育大綱（R1～5）

- ・ 基本方針 1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

(1) 「清流の国ぎふ」への誇りと愛着の醸成

第3次岐阜県教育ビジョン（R1～5）

- ・ 基本方針 1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標 1 「ふるさと岐阜」を学ぶふるさと教育の充実

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 「ふるさと教育」の一環として、岐阜県が世界に誇るふるさとの魅力を子どもたちが体験して学ぶことで、ふるさとに対する誇りと愛着を育む。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H28)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
① ふるさと魅力体験 事業実施校数	0校	事業中止 (~R1)384校	122校 (506)	106校 (612)	16校 (628)	—%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、事業を中止した。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>郷土への誇りと愛着を育む「ふるさと教育」を推進するために、県内に数多くある施設等での体験活動等を通じて、その魅力や素晴らしさを体感して学ぶことは、必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>事業開始以降、これまでに 384 校の児童生徒が県内の施設で体験学習を実施し、各校で実施しているふるさと教育への接続に大きな成果があるが、新型コロナウイルス感染症の影響による中止及び延期となり、計画どおりの実施できていない。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による中止及び延期となり、計画どおりの実施できていない。</p>

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項                  新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、事業を継続していく必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか                  小・中学校の授業での地域を学ぶ活動や、ふるさと岐阜を代表する施設を見学・体験する取組などを通じて得た知識をもとに、高校では学校や学科の特色に応じた活動に取り組むなど、小・中・高と切れ目ない「ふるさと教育」を推進していく。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	